

中学校特別支援学級 美術科学習指導案

1 単元名 「自分だけのオリジナルフレームを作ろう」

2 単元について

本校の特別支援学級は30名以上と生徒の人数が多いこともあり、各教科担当が授業内容を工夫して授業を行っている。美術では、昨年度は自分の名前のデザイン画、紙版画、カレンダーの作品作りを行った。今年度は、4月から有名な画家の作品の模写をし、9月からはオリジナルのフレーム作りに取り組んでいる。

本単元のオリジナルフレーム作りでは、「メタル箔」という仕上りが金属加工のように仕上がるシールを使うのが特徴で、自分の作った模様がだんだんメタリックな仕上がりになっていくのが、生徒にとっても興味深く取り組める内容になっている。また、比較的作業が苦手な生徒にとっても貼りつけたメタル箔を磨くことで、作品が金属風に仕上がるので、失敗を気にせずに取り組めるという利点がある。始めにフレームに切った工作用紙を貼っていく作業があるが、2・3年生は昨年度紙版画で同じ工程を経験しているため、自分で取り組める生徒も多い。ハサミを使うのが苦手な生徒には、スライドカッターやクラフトパンチを準備したり、切る作業を教師が支援したりすることで、不安感を取り除いて取り組むことができると考えている。

3 単元の目標

- (1) メタル箔の作品制作に興味をもち、仕上がりを想像しながら集中して作ることができる。
【関心・意欲・態度】
- (2) 説明や見本を参考にしながら、手順通りに作ることができる。 【知識・理解・技能】
- (3) 難しいところなどは相談や確認をしながら取り組むことができる。 【思考・判断】

4 生徒の実態

今年度の特別支援学級5組は、32名在籍しており、市内でも一番大きい学級となっている。そのため、国語・数学・自立活動は能力別にグループ分けして授業展開しているが、教科によっては、32名一斉に1教室で展開しているものが5教科あり、その一つに美術がある。理科、社会、技術・家庭は2グループ展開で通常の先生が授業を行い、T2で特別支援学級担当職員が支援に入っている。

通常学級との交流は、修学旅行等の学年行事と年度初めの給食交流のみで、通常学級との関わりがあまりなく、特別支援学級のみでの活動が主となっている。32名の一斉授業では、生徒の能力差が大きく、また個別の支援も十分に行えない状況がある。美術については、多くの生徒が興味をもって取り組んでおり、授業では主に苦手意識のある生徒などを中心に個別の支援を行っている。

〈主に個別の支援を行っている生徒の実態〉

生徒名	生徒の実態
Aさん (1年男)	・自分からすすんで取り組むことができるが、不器用で自信が持てない。そのため、授業中に質問が多くなったり、立ち歩いたりすることがある。
Bさん (2年男)	・前向きに取り組むが、こだわりが強く、作品が進まないことが多い。周りの生徒との関わりから気持ちが不安定になり、欠席することもある。
Cさん (2年男)	・美術は比較的得意だが、他のことが気になり、集中できないことがある。また指示を聞いていないことがあり、取りかかりが遅くなる。
Dさん (3年男)	・美術は得意で理解力が高いが、その時の気分により雑に作品を仕上げるときがある。夏休み前は不安定になり、教室を飛び出すこともあった。
Eさん (3年男)	・学習も美術も苦手意識があり、取り組みも消極的で作品がほとんど進まない。納得できないことなどがあると、急に走り出す。
Fさん (3年男)	・ひらがなが書ける程度で、各教科の授業でも個別に支援している。自信がなく不安感が強いため、活動の際は質問が多く、教師に支援を求めてくる。
Gさん (3年女)	・はさみが使えないなど、常に個別の支援が必要。美術は好きで、興味を持って取り組む。行動が遅く、授業に遅れることがある。

5 単元の指導計画（7時間扱い）

学習内容	時数
「オリジナルフレーム」完成までの手順を知り、イメージを広げる。メタル箔の特性について知る。	1
自分のイメージするデザインを考え、フレームに貼るパーツを切って貼りつける。	2
メタル箔を小さく切り、フレームに隙間なく貼り、みがく。お互いの作品を鑑賞する。	4（本時3／4）

6 本時の指導

(1) 目標

- ①完成までの見通しをもち、手順通りに取り組むことができる。【知識・理解・技能】
- ②分からないときに手順表を見たり、教師に相談や確認をすることができる。【思考・判断】

(2) 生徒の実態及び個別目標と手だて

生徒名	本時の個別目標	個別の手立て
Aさん (1年男)	・次にやるべきことが分かり、見通しをもって取り組む。	・始めに作業内容を一緒に確認する。分からない時は手順表を見るよう伝えておく。
Bさん (2年男)	・自分のイメージした形を作り、フレームに貼ることができる。	・進み具合を一緒に確認し、よくできている点を伝え、自信を持たせる。
Cさん (2年男)	・完成までの見通しをもち、手順通りにメタル箔を貼ることができる。	・始めにその日の作業内容を確認する。手順表を見ながら、貼り方を再度伝える。

Dさん (3年男)	・完成までの見通しをもち、ていねいにメタル箔を貼ることができる。	・前回までの取り組みでよかった点を伝える。ていねいに貼ることが仕上がりに影響することを予めアドバイスしておく。
Eさん (3年男)	・作品作りの手順を理解し、一定時間集中して取り組む。	・始めに手順表で作業内容を確認する。「何分までにこれを進めよう」とやることを具体的に伝える。
Fさん (3年男)	・自分の作業内容を知り、見通しをもって取り組む。	・「今日はここまでやりましょう」と手順表を一緒に見て作業内容を確認する。分からない時は相談するように伝えておく。
Gさん (3年女)	・貼る作業などが難しい時には、自分から相談をして進めることができる。	・「今日はこれを頑張ろう」と作業内容を初めに確認する。難しい時は、教師に相談するように伝えておく。

(3) 本時の展開

過程	学習活動と内容	教師の支援及び指導上の留意点
導入 10	<ul style="list-style-type: none"> ・準備 ・あいさつ ・「オリジナルのフレームを作ろう」の手順と自分の進捗を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の材料を受け取る。 ・手順表で分かり易く説明する。(T1) ・自分がどこまで進んでいるか、手順表で確認するよう促す。(T1) ・話を聞く姿勢ができていない生徒には個別に声をかける。(T2) ・使う材料の場所や片づけ方を伝える。(T1)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">フレームにメタル箔をていねいに貼ってみよう</div>		
展開 35	<ul style="list-style-type: none"> ・メタル箔を貼る時に気を付けるポイントを知る。 ・使う材料、用具を準備し、制作に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メタル箔をどのくらいの大きさに切るか、分かり易く説明する。(T1) ・端から少しずつ重なるように貼ること、布を使って空気を抜くように貼っていくことなど、手本を示しながら説明する。(T1) ・みがく工程の説明をする。 ・手順ややり方が分からない時は、黒板を見て確認するように伝える。(T1) ・取りかかりの遅い生徒には、様子を見て声をかける。(T1・T2) ・メタル箔が破れないように気を付けて少しずつ貼るよう伝え、難しい場合は手本を示す。(T1) ・個別支援が必要な生徒には、様子を見ながら声をかける。(T1・T2)

<p>まとめ 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・片づけ ・よくできた点を発表する。 ・自分の進捗を確認する。 ・仲間の作品の良い点を知り、参考にする。 ・あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・進みが早い場合は、さらに進める。 (T 1・T 2) ・決められた場所に用具を片づけることができているか、一人一人確認し、難しい生徒には片づける場所を具体的に伝える。(T 1・T 2) ・自分の取り組みを振り返り、よくできた点などを聞き、発表を促す。(T 1) ・自分がどの工程まで進んだかを確認する。 ・特によかった作品や工夫すべき点に触れ、次回の取り組みへの意識づけをする。(T 1)
------------------	--	---

(4) 本時の評価

- ①完成までの見通しをもち、手順通りに取り組むことができたか。【知識・理解・技能】
- ②分からないときに手順表を見たり、教師に相談や確認をすることができたか。【思考・判断】

〔美術室 座席配置図〕

	B
A	

C	E
	D

	G
F	

作品カゴ・厚紙・はさみ・のり・クラフトパンチ

黒板 (手順表)

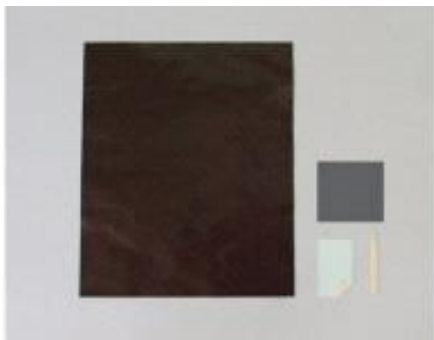
出入口

メタル箔について

〈メタル箔シートの特長〉

粘土・紙・木製品と、様々な素材に貼り付けが可能なので、いろいろな美術作品にチャレンジできます。紙粘土などの作品に、メタル箔シートを貼り付けると、あっという間に金属感のある重厚な作品に仕上がります。

『メタル箔シート』のセット内容



- アルミ箔シート(タックのり付) 300×250(mm)・・・1
- 研磨剤・・・・・・・・・・・・・・1
- 作業棒・・・・・・・・・・・・・・1



○平面だけでなく、立体作品にも使えるのが特徴